

1 単元名 かさ

2 単元の目標

- ・ 普遍単位（L, dL, mL）のよさに気づき、身の回りの入れ物の容積表示を進んで見つけたり、適切な大きさのますを使ってかさを測定したりしようとする。（関心・意欲・態度）
- ・ かさの普遍単位の必要性について考えることができる。（数学的な考え方）
- ・ かさを「L」、「dL」、「mL」の単位を用いて表したり、ますを使ってかさを測定したりすることができる。（技能）
- ・ ますの使い方や、かさの単位「L」、「dL」、「mL」のよみ方・かき方・相互関係が分かる。（知識・理解）

3 単元について

本単元では、任意単位による測定の仕方を繰り返し行うとともに、これをもとに、普遍単位 L, dL, mL を導入し、1Lますや1 dLますを使ったかさの測定を行ったり、身の回りのいろいろな入れ物の容器を調べたりする。

指導においては、長さの指導と関連付けて普遍単位の必要性を感じさせるとともに、ますを使ってかさを正確に測定できるようにさせる。また、量感をもたせ、およその見当を付けたり目的に応じて単位やますを適切に選んだりする算数的活動を取り入れ、身の回りで使われているかさの単位に触れさせ、その便利さに気付かせることを大切にしたい。

4 児童について

算数が好きな児童が多いクラスである。児童は、意欲的に授業に取り組むが、発表となると決まった児童になってくる。ノートに自分の考えや答えを書くことはできるが、発表となると自信がなく手を挙げるができない。自分の意見を言うことに苦手意識をもっている児童もいる。

また、かさについては、第1学年「おおきさくらべ」の単元で「一方を他方に移して比べる直接比較」と「第3の容器に入れて、その高さで比べる間接比較」、「任意単位（コップなど）を決めて、その何倍分かを調べる任意単位による測定」を学習している。

5 指導について

今年度の本校の研究主題「自ら学び、つながりながら高め合う子どもの育成」を受けて、聞き方や話し方を工夫することで、児童が意欲的に学習に参加できるように心がけている。そのためにも、聞くルール、話すルールをきちんと作ることに取り組んでいる。一人一人が自信をもって意見を発表できる環境をつくることで活発な授業になっていくようにしていきたい。

本時では、グループ活動を入れることで、自分の意見を話せる環境を作っていく。少人数の中で友達の意見を交わしながら、相談し合い、考えを高め合えるようにしていきたい。そして、自分の意見を発表できることで自信をもたせ、学ぶ楽しさを育てていきたい。

6 指導計画（7間配当）

時	学習内容	ねらい	関	考	技	知	評価規準
1 本 時	・かさを量るには、ますを使うことや単位 L を用いることを知り、1 L ますを使って、いろいろな入れ物に入る水のかさを測定する。	・かさ比べに関心を持ち、普遍単位の必要性に気付く。 ・かさを量るにはますを使うことや、単位 L を用いることを理解する。			◎	○	(知)かさを単位 L を用いて表すことを知る。 (技)1 L のますを使って、いろいろな入れ物に入る水のかさを測定することができる。
2	・1 L ますでは量れない量を 1 dL ますで量ることを知り、dL と L の関係を理解する。 ・簡単な場合のかさのたし算、ひき算の仕方を理解する。	・単位 dL を知り、L と dL の関係を理解する。 ・簡単な場合のかさのたし算やひき算ができる。		◎			(考)単位に注意して、かさの加減計算の答えとそのわけが言える。
3	・dL で表すことができない量を mL の単位を使って表し、mL と dL、mL と L の関係を理解する。 ・日常生活の中で、かさが mL 表示のものを探し、mL の単位に慣れ親しむ。	・単位 mL を知り、mL と dL、mL と L の関係を理解する。 ・生活の中の mL に触れる。	◎			○	(知)単位 mL を知り、mL と L の関係を理解する。 (関)身の回りのどのよう なところに mL の単位が使われているか発表し、家でも調べてみようとする意欲をもとうとしている。
4	・いろいろな入れ物に、1 L と思うかさだけ水を入れ、1 L ますでその量を確かめる。 ・1 L の水をいろいろな入れ物に入れて、どれくらいの深さになるかなどを確かめる。	・いろいろな入れ物に 1 L と思うかさだけ水を入れ、それを確かめる活動を通して 1 L の量感を豊かにする。	◎			○	(知)どのくらいの深さになるか見当付けてから、1 L の水をいろいろな入れ物に入れてみるができる。 (関)身の回りの 1 L 入る物に関心を示し、見つけようとしている。
5	・身に付けた量感をもとに、いろいろな入れ物に入るかさを予想してから、かさ調べを行う。	実測で得た量感をもとにした量の大きさの見当付けを行い、測定できる。			◎		(技)いろいろな入れ物に入るかさを、身に付けた量感をもとに概測することができる。
6	たしかめ道場						
7	ふくしゅう						

7 本時の目標

- ・かさしらべに関心を持ち，1Lますを使って，水のかさを量ることができる。

8 準備物

1Lます 花瓶 ビニル袋 バケツ やかん じょうろ ボール 鍋

9 本時の学習過程

学習活動	支援（・）と評価（☆）
<p>○花瓶とビニル袋に入っている水の量を比べてみる。</p> <p>○本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>水のかさの比べ方を考えよう。</p> </div> <p>○水のかさの比べ方を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いつ，どこでも，正しくかさを量るためには，どうすればよいか考える。 <p>○かさの単位1Lを知る。</p> <p>○1Lますを使って，花瓶とビニル袋に入っている水のかさを調べる。</p> <p>○Lの書き方を知り，練習する。</p> <p>○じょうろやバケツ，ボール，鍋を用意し，かさの見当をつけてから，1Lますで量る。測定した結果を記録用紙に記録する。（グループ活動）</p>	<p>・実物を見せ，かさの違いに気づかせ，かさ調べをすることへの興味・関心を高める。</p> <p>・1年生でのかさ比べの学習を思い出させ，同じ大きさのものを単位としなければ比べられないことを理解させる。</p> <p>☆同じますを使って，水のかさを調べる方法を考えることができるか。（発言・観察…技）</p> <p>・かさを量る単位として「L」があることを示し，水などのかさは1Lますで量ることを知らせる。</p> <p>☆かさの単位として「L」があることが分かる。</p> <p>・水をこぼさないようにする，ますいっぱいに入水を入れるなど正しい測定のしかたを意識付ける。</p> <p>・「1Lの○つ分で○L」入ることをおさえ，黒板に書いたり，声に出して読んだりする。</p> <p>・端数は，「○Lと少し」や「およそ○L」というように表現させる。</p> <p>☆1Lますを使うことで，水の量を測定することが分かるか。（観察・ノート…知）</p> <p>☆1Lますを用いて，進んで水のかさしらべをしようとしているか。（観察…技）</p>

10 授業の観点

- ・グループ活動をし，自分でかさを量ることは，1Lますをうまく使うのに有効であったか。